

重点分野・テーマ別に集中実施する販売促進の強化等緊急対策事業報告書
 (平成31年(令和元年)実施分)
 (分野・テーマ別の販売促進活動)

1. 取組名：台湾向け梨販売促進活動
2. 実施期間：令和元年9月5～13日
3. 対象国：台湾
4. 実施場所：台湾（台北・台中・台南・高雄）
5. 渡航行程

台湾向け梨販売促進活動渡航行程表

月日	行程・内容
9月5日	鳥取・米子→羽田→台北松山
9月6日	新甘泉イベント（台北・新光三越）
9月7日	台北→台中 新甘泉イベント（台中・裕毛屋） 輸入業者商談
9月8日	台中→台北松山→羽田→鳥取・米子
9月9日	台北松山→羽田

6. 販売促進活動内容：

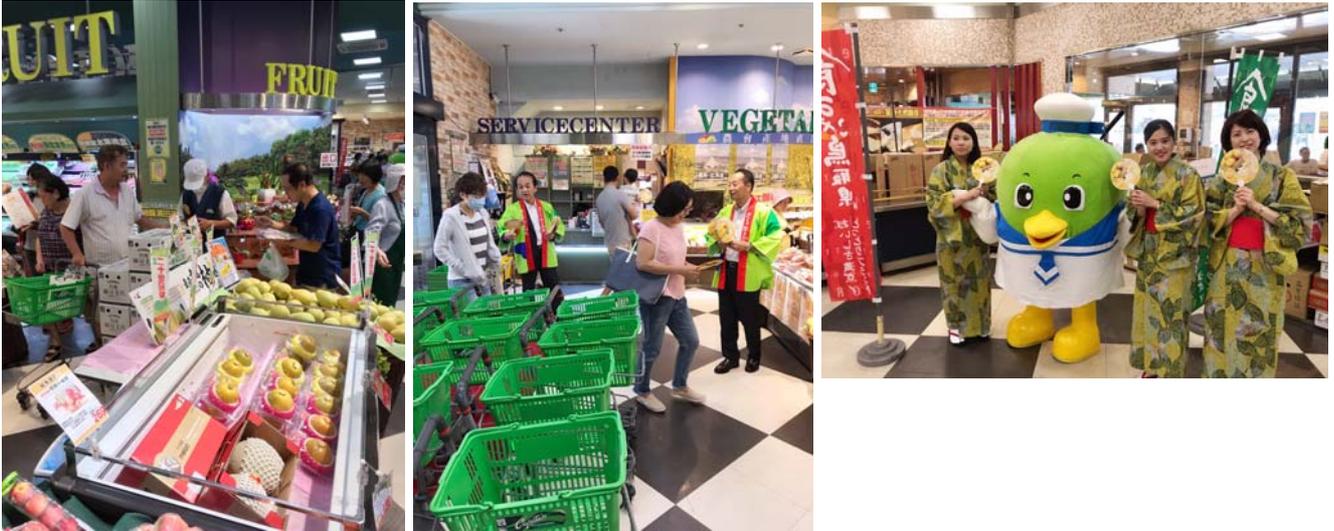
	実施店舗	日程
新甘泉梨PRイベント	新光三越	9月6日
	裕毛屋	9月7日
新甘泉梨・二十世紀梨 試食宣伝	新光三越3店舗	9月6日～8日、11日～13日
	JASONS1店舗	9月7日～13日

鳥取県産二十世紀梨及び新甘泉梨を輸出し、新甘泉梨のPRイベントや、店頭での試食宣伝会を開催した。

新光三越でのイベントでは、テレビ局やブLOGGERなども招待し、新甘泉梨の食味や品種紹介などPRした。また、マスコミ各社によりイベントのネットニュースや動画の配信等を行った他、来場者のSNS投稿により、来場者以外へも幅広く新甘泉梨の品種紹介及び旬の到来をアピールした。また、イベント後に渡航者による店頭試食宣伝も行った。食味評価は良好で、試食後に購入する来客者が多かった。



裕毛屋でのイベントでは、来客者に対して品種の説明を行いながら試食品を提供し、新甘泉梨の到来をアピールした。こちらも来客者からの評判は、良好であった。



その他 4 店舗で、マネキンを用いて新甘泉梨と二十世紀梨の店頭試食宣伝を実施し、来客者へ PR を行った。

二十世紀梨については、青梨であり他の赤梨品種との差別化が比較的容易である上、試食宣伝による購買意欲向上効果も相まって販売は順調であった。

商談内でも意見を受けたが、新甘泉梨は、取り組み年数が浅く、また、赤梨であるため現地で出回っている赤梨品種との外見的な差別化が難しい。定着化を図るには消費者に対して食味 PR など継続的な店頭販売促進活動が必要と考えられる。



以上